

24年度入学生用「ふくい地域創生士」認定要件

○ 経済学部 (経済学科・経営学科共通)

【1】3年前期終了時の成績が上位2分の1以内であることに加え、以下のいずれかを満たすこと

- ① 福井県交流文化部定住交流課の事業として行われたインターンシップもしくは企業独自のプログラム、または291JOBS上にて掲載・募集されているインターンシップ、いずれかに20時間以上参加すること。
- ② 経済学部がPBL授業と認定した科目の単位を修得すること。
(2025年度のPBL科目は「経済学・経営学特講C(行政のリアル)」となります)
- ③ ボランティア活動(原則、福井県内)に合計20時間以上従事すること。

【2】上記の2条件を満たした上で、「コース制」を選択しているか、あるいは、下表にある地域志向科目の中から、所定の単位を修得すること。

| | | |
|---|-----------|------------|
| 地域志向科目 合計12単位以上 | | |
| ■一般教育科目 以下のうちから4単位以上 | | |
| 自由科目 A群 「V福井と地域社会」に挙げられている科目、経済学、経営学 | | |
| ■専門科目 8単位以上(うち、特別企画講座A~G、及び経済学特講B~G・経営学特講A~Gで地域志向科目とされたものから2単位) | | |
| 文化経済学 | 中小企業論I・II | 地域経済論 |
| 地方財政論 | 社会的企業論 | 産業デザイン |
| 公益事業論 | 地域マネジメント論 | 経済政策 |
| 経営学特講A~G* | 経済学特講B~G* | 特別企画講座A~G* |
| 注1) 単位修得見込で申請することができる。 | | |
| 注2) *は当該年度不開講科目が含まれる。 | | |

【3】その他

- ・福井県交流文化部定住交流課が実施したプログラムのうち、インターンシップ・オープンカンパニー、1day 企業見学会等の名称を問わず、研修期間が20時間未満のものは要件として認めない。また、複数の研修の日数を合算して20時間以上となっても、要件を満たすことにはならない。
- ・成績基準を満たさない場合は、ふくい地域創生士の趣旨に則り、地域の人たちと一緒に地域課題解決をはかるなど、地域や大学で意欲的な活動を行った場合に認めることがある。なお、この場合は、本学教員の推薦書を必要とする。

25年度入学生用「ふくい地域創生士」認定要件

福井県立大学

○経済学部（経済学科・経営学科共通）

| |
|---|
| <p>(ア) 地域志向科目の修得 以下のいずれかを満たすこと。 A) コース制を選択していること。 B) 下表①の科目から2単位以上、②と③の科目から合わせて8単位以上を修得するとともに、①～③で計12単位以上修得していること</p> <p>(イ) 県内企業等でのインターンシップまたはこれに類する取り組み 以下のいずれかを満たすこと A) 29IJOBS 上にて掲載・募集されているインターンシップに20時間以上参加すること。 B) 経済学部がPBL授業と認定した科目の単位を習得すること。 C) ボランティア活動(原則、福井県内)に合計20時間以上従事すること。</p> <p>(ウ) 成績や面接等による審査 以下のいずれかを満たすこと A) 3年前期終了時の成績が上位2分の1以内であること。 B) ふくい地域創生士の趣旨に則り、地域の人たちと一緒に地域課題解決をはかるなど、地域や大学で意欲的な活動を行っていること。この場合は、本学教員の推薦書を必要とする。</p> |
|---|

地域志向科目一覧表（年度によっては開講されないこともあるため時間割を都度確認すること）

① 地域の自然・社会環境に関する基礎的知識

| | | | | | |
|---|-------|-------|-----|-----|-----|
| 一般教育 | 福井を学ぶ | 海と暮らし | 恐竜学 | 経済学 | 経営学 |
| 地(知)の拠点大学による地域創生推進事業開講科目（アオッサ開講科目・ただし①の科目区分のもの） | | | | | |

② 地域の課題に向き合い、包括的専門知識を応用し解決に繋げようとする素養

③ 地域の職業現場・産業界の現状理解と、高度専門職業人としての目的意識

| | | | | | |
|--|--------------|-------------|---------------|--------------|--|
| 一般教育 | 観光学 | 暮らしを支える生物資源 | | | |
| 地(知)の拠点大学による地域創生推進事業開講科目（アオッサ開講科目・ただし②③の科目区分のもの） | | | | | |
| 専門教育 | 地域マネジメント論 | 中小企業論Ⅰ・Ⅱ | 経済政策 | 社会的企業論 | |
| | 地域経済論（偶数年開講） | | 産業デザイン（奇数年開講） | 地方財政論（奇数年開講） | |
| | 経済学特講 B～G | | 経営学特講 A～G | 特別企画講座 A～G | |

※ 認定申請の時点では上記の（ア）、（イ）について、それぞれ以下の要件を満たしていればよい。

（ア）「コース制を選択していること」もしくは「3年生前期終了時点で地域志向科目を9単位以上修得済み（①～③の区分は問わない）であり、3年生後期で上記の要件を満たせる見込であること」

（イ）インターンシップ等の活動を「実施済み」、もしくは「実施中」であること。なお、インターンシップは研修期間が20時間未満のものは要件として認めない。複数の研修の日数を合算して20時間以上となっても要件を満たすことにはならない。

※ 認定申請を行った者に対しては、認定見込証明書を交付できる。

26年度入学生用「ふくい地域創生士」認定要件

福井県立大学

○経済学部（経済学科・経営学科共通）

| |
|--|
| <p>(ア) 地域志向科目の修得 以下のいずれかを満たすこと。 A) コース制を選択していること。 B) 下表 I および II の科目からそれぞれ 4 単位以上、合計 12 単位以上修得していること。 (ただし①②③の区分ごとにそれぞれ 2 単位以上含むこと)</p> <p>(イ) 地域貢献活動等への取り組み 以下のいずれかを満たすこと A) 291JOBS 上にて掲載・募集されているインターンシップに 20 時間以上参加すること。 B) 経済学部が PBL 授業と認定した科目の単位を習得すること。 C) ボランティア活動(原則、福井県内)に合計 20 時間以上従事すること。</p> <p>(ウ) 成績や面接等による審査 以下のいずれかを満たすこと A) 3 年前期終了時の成績が上位 2 分の 1 以内であること。 B) ふくい地域創生士の趣旨に則り、地域の人たちと一緒に地域課題解決をはかるなど、地域や大学で意欲的な活動を行っていること。この場合は本学教員の推薦書を必要とする。</p> |
|--|

地域志向科目一覧表（年度により開講されないことがある）

I 一般教育科目

| | | | |
|---|------|-----------|----------------|
| 福井を学ぶ① | 恐竜学① | 海と暮らし② | 暮らしを支える生物資源② |
| 経済学① | 経営学① | 水産増養殖学概論② | 多文化共修フィールドワーク② |
| 地(知)の拠点大学による地域創生推進事業開講科目(アオッサ開講科目・ただし①②③の科目区分のあるもの) | | | |

II 専門教育科目（【奇】奇数年開講、【偶】偶数年開講）

| | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 地域マネジメント論②③ | 中小企業論 I ②③ | 中小企業論 II ②③ | 経済政策②③ |
| 社会的起業論②③ | 地域経済論【偶】②③ | 地方財政論【奇】②③ | 産業デザイン【奇】②③ |
| 特別企画講座 A～G※ | 経済学特講 B～G※ | 経営学特講 A～G※ | |

(注) 地域志向科目一覧表科目区分(※とある科目の①②③はシラバスから判断すること)

- ①地域の自然・社会環境に関する基礎的知識
- ②地域の課題に向き合い、包括的専門知識を応用し解決に繋げようとする素養
- ③地域の職業現場・産業界の現状理解と、高度専門職業人としての目的意識

- ▶ 上記要件の(ア)、(イ)は、認定申請の時点でそれぞれ以下を満たしていれば申請できる。
(ア)「コース制を選択していること」もしくは「3 年生前期終了時点で地域志向科目を 9 単位以上修得済み（I・IIの区分は問わない）であり、3年生後期で上記の要件を満たせる見込であること」。
(イ)インターンシップ等の活動を「実施済み」、もしくは「実施中」であること。
- ▶ 認定申請を行った者に対しては、認定見込証明書を交付できる。
- ▶ インターンシップは研修期間が 20 時間未満のものは要件として認めない。複数の研修の日数を合算して 20 時間以上となっても要件を満たすことにはならない。
- ▶ (イ)の活動が C)ボランティア活動の場合、(ウ)B)の活動は(イ)とは異なる活動であること。